

## WebSAM 導入事例

**WebSAM**



株式会社アマダ  
ICTシステム部  
インフラ管理グループ リーダー  
富山 武則 氏



株式会社アマダ  
ICTシステム部  
インフラ管理グループ  
秋山 逸弥(いつや) 氏

# 株式会社アマダ 様

## 160拠点を結ぶネットワークを可視化 管理を効率化し、 変化に強い運用環境を実現

金属を加工する様々な機械を提供し、日本だけでなく世界のモノづくりを支えている金属加工機械総合メーカーのアマダ様。同社では、約160の国内拠点をネットワークで接続し、ビジネスを展開しているが、運用管理の面で課題を抱えていた。そこで、NECのネットワーク運用管理ソフトウェア「WebSAM NetvisorPro V」を導入し、ネットワークの可視化と設定ファイル管理の効率化を実現。プロアクティブな障害対応を実現するなど、高い成果を上げている。

### ネットワーク運用環境の 抜本的な見直しに着手

高度なノウハウを要する薄板の折り曲げや切断、穴開けといった板金加工。その領域で長年培った技術力を強みとし、モノづくりに欠かせない各種金属加工機械の製造・販売を行っているのがアマダ様である。

グローバルにビジネスを展開する同社は、国内だけでも、事業所や工場など、約160の拠点を配置しており、それらを結ぶネットワークは、同社の動脈ともいえる重要な存在となっている。

このネットワークの構築、運用、管理を一手に担っているのが同社のICTシステム部である。同部では、データ量の増大や拠点間での情報のやりとりの頻度の高まりとともに、ネットワークも段階的に増強してきた。

現在の同社のネットワークの概要は、次の通り。開発・製造のメイン拠点となる富士宮事業所と販売のメイン拠点となる伊勢原本社間は、専用線で接続。各地に散らばる各拠点からは、Bフレッツをアクセス回線にして、基幹系システムおよび情報系システムに接続している。

一方で、ネットワークの運用管理の面では課

題もあった。

「『ネットワークの調子がおかしい』という現場からの電話で、我々は初めて故障の発生を知る、というケースがほとんどでした。しかも、こうした電話でのやりとりだけでは、どの箇所で障害が起きているのかまでは分からぬため、的確な対応をすることも難しい状況でした」と同社のICTシステム部の富山 武則氏は話す。

運用管理負荷増大も問題の一つとなっていた。同社では、業容の拡大などにともない、半年に1度のペースで社内組織の改編を行っている。当然、ネットワークトポロジーもそれに合わせて変更するが、社内には700台を超える通信機器があり、それらの設定作業に膨大な手間がかかっていたのである。「手動で行っていたため、設定に数日かかることもありました。設定ファイルのバックアップ、ソフトウェアのバージョン管理のために、夜間や休日に作業することもしばしばでした」と同じくICTシステム部の秋山 逸弥氏は述べる。

こうした課題を解決するため、同社では、ネットワークの状況をリアルタイムに把握できる新たな運用管理ツールの導入に乗り出した。

## トポロジー、機器の死活の可視化 マルチベンダー対応を評価

ツールの選定に当たり、同社では複数のネットワーク運用管理ツールを検討。結果、同社が採用したのがNECのネットワーク運用管理ソフトウェア「WebSAM NetvisorPro V」である。

きっかけは、Web上で見かけた製品紹介記事だったという。「『これだ』と思いNECに問い合わせたところ、すぐに評価版を貸し出してくれました。特に期限も設けずに貸し出しても

らったおかげで様々な角度から、じっくりと検証することができました」と富山氏は語る。

中でも、富山氏が高く評価したのが、ネットワークのトポロジー、すべての機器の死活を一元的に可視化できる点だ。「ビジュアル化された分かりやすいGUIで、どの棟のどの階に、どの機器が設置してあるかまで、社内の通信機器のトポロジーマップが一目瞭然です。しかも、トラブルの生じた機器は、画面上で赤くハイライト表示される仕組みになっています。これなら、どの機器に障害が起こっているかを瞬時に把握でき、現場からクレームが上がる前に我々が先回りして対応できる。万一の際の復旧時間も短縮できると思ったのです」

また、様々なベンダーのネットワーク機器に対応している点も採用のポイントとなった。実は、同社は、2000年以降、複数のグループ会社を

統合して現在の姿に至っている。こうした一連の経緯から、通信機器は、複数のベンダーの製品が混在しつつ、並行運用されていたのである。それに対し、WebSAM NetvisorPro Vは、主要ベンダーの多くの通信機器をサポートするマルチベンダー対応を特長としており、アマダ様社内で利用している通信機器の約9割をカバーすることが可能であった。これなら、既存の通信機器をリプレースせよとも、引き続き使用でき、運用管理面の課題を解決できると考えたのだ。

「NECには、問い合わせに迅速に対応してもらうなど、検証段階から様々なサポートをしてもらいました。2007年12月から実質わずか2ヶ月という短期間で、全社展開を実現できたのも、こうしたサポートのおかげだと思っています」と秋山氏はNECの対応を評価する。

## 設定ファイルの管理を効率化し 戦略的なIT活用にリソースを投下

WebSAM NetvisorPro V導入後、ネットワークの運用管理に関する負担は大きく軽減している。中でも、設定ファイルのバックアップや世代管理、一括更新などを管理画面から一気に行えることは、劇的な効果をもたらした。

例えば、手動で行っていた頃は、1台につき5分ほどかかっていた設定ファイル管理は自動化され、50台に配布するのに4時間ほど費やし

ていた設定ファイルの配布も、約30分でミスなく一括配布できるようになった。また、1台あたり5分ほどかかっていた機器のスケジュールリブートも、今や10分程度ですべての機器のリブートが完了する。

「以前は、ネットワークの設定変更前のテストに膨大な時間がかかっていましたが、今では新しい設定がうまく機能しない場合

## PROFILE 株式会社アマダ

本社所在地：神奈川県伊勢原市石田200  
設立：1948年5月1日(1946年9月10日創業)  
資本金：547億6,800万円  
売上高：2,622億円(2007年3月)  
従業員数：連結5,516人、  
単体1,616人(2007年3月)  
事業概要：約80のグループ会社のシナジーを生かし、金属加工機械・器具の製造・販売・賃貸・修理・保守・点検・検査事業などを展開。富士宮事業所の敷地内にはイノベーションセンターを設置し、顧客が工作機械の実機検証や共同開発を行える。  
URL：<http://www.amada.co.jp/>

でも、バックアップしておいた以前の設定に一斉に戻すことができるようになり、テスト作業も効率化しています」(秋山氏)

思いがけない効果もあった。各機器のポートの空き具合まで視認できるため、拡張時に既存資産をこれまで以上に有効活用できるようになったのである。

「経営層から強く求められている内部統制対応の観点からも、今回のプロジェクトは大きな意味があったと感じています。さらに特別なスキルがなくとも確実に大量の機器を統括できるようになったため、ICTシステム部は、ネットワーク運用から解放され、より付加価値の高い業務にリソースを投下できるようになりました」と富山氏は述べる。

このようにネットワークの運用性に柔軟さが増したこと、同社の新たな業務展開に対するフットワークは格段に軽くなった。今後の同社のさらなる飛躍に期待したい。

### お問い合わせ

NEC ITプラットフォーム販売推進本部  
プラットフォームコンタクトセンター  
ソフトウェアサポートグループ  
〒108-8425 東京都港区芝五丁目33番1号(森永プラザビル)  
TEL:03(3798)7177 FAX:03(3798)8414  
【受付時間】午前9:00～12:00 午後1:00～5:00  
※土・日・祝日・NEC所定の休日を除く  
E-mail:[contact@soft.jp.nec.com](mailto:contact@soft.jp.nec.com)  
URL:<http://www.nec.co.jp/WebSAM/>  
※記載されている会社名および商品名は、各社の商標または登録商標です。  
★内容は改良のために予告なしに変更する場合がありますのでご了承下さい。

画面例:WebSAM NetvisorPro V マップアイコンによる障害通知

